

名古屋大学における無線ネットワークと セキュリティ調査について

河 口 信 夫

名古屋大学では、平成15年11月18日に、情報セキュリティ対策推進室を発足させました。情報セキュリティ対策推進室では、情報連携基盤センターと連携して、最近、急速に拡大しつつある情報セキュリティに関する諸問題の対応策の検討を進めています。

さて、セキュリティ問題の一つに、ネットワークへの不正アクセスが挙げられます。最近の無線LANの普及に伴い、名古屋大学キャンパス内にも、多数の無線LAN基地局が設置されています。これら基地局の中には、セキュリティを十分に考慮していない無線LAN基地局も見受けられました。特に不特定の第三者により、NICEに接続可能な基地局は、不正アクセスや不正ファイル転送などの違法行為によって、学内の情報セキュリティに深刻な問題を引き起こす可能性があります。

情報連携基盤センターでは、名古屋大学キャンパス内において、大学構成員がいつでもどこでも安全に情報資源を利用可能にするために「ユビキタス・セキュア情報基盤」の構築を検討しています。全学に安全な無線LANを配備するためにも、現在の無線ネットワークの利用状況、及びセキュリティ状況の調査を行う必要がありました。そこで、当センター情報基盤ネットワーク研究部門では、平成16年4月末に、情報セキュリティ対策推進室からの依頼に基づいて、名古屋大学キャンパス内における無線ネットワーク利用状況の予備調査を行いました。

調査方法： IEEE802.11b 無線LAN端末を用いたアクセスポイント接続可能性調査
接続後は、NICE内へのping によりネットワーク到達性調査
(DHCP利用, ping調査は2秒以内に接続できたもののみ)
WEP使用のアクセスポイントには接続調査は行っていません。

調査範囲： 東山キャンパス (屋外からの調査のみ)

調査結果： 無線LANアクセスポイント数 : 255
暗号化 / 認証を行っていないアクセスポイント数 : 114
2秒以内に接続可能 / ping到達アクセスポイント数 : 9

予備調査の結果から，東山キャンパス内では約半数のアクセスポイントが暗号化，もしくは認証を行っておらず，全体の4%弱の基地局が，認証なしにNICE内に接続可能となっていることがわかりました。

今後は，より詳細な調査と共に，セキュリティが十分でない基地局等への指導を行う予定です。

無線LANのセキュリティについては，以下を参考にしてください。

無線LANの情報セキュリティに関する情報

<http://www.net.itc.nagoya-u.ac.jp/wnet/security/>

(かわぐち のぶお：名古屋大学情報連携基盤センター情報基盤ネットワーク研究部門)